

更新

事業者名	フェアトレード ラブランド
------	---------------

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

フェアトレード産品を販売し、市民のお買い物で世界の様々な課題の解決を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	環境的、社会的、経済的基準が国際フェアトレード基準で設けられているフェアトレード産品を販売し、一般のお店でもフェアトレードを扱っていただけるように働きかける。	企業、店舗、市民団体などにフェアトレードの利用、取扱いを進め、フェアトレード取扱店舗を増やす。 ・フェアトレード取扱店舗 2023年91店舗→2026年182店舗
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	フェアトレードを学び、体験する場として、拠点を整備し、セミナーやライブラリーを充実させる。	・セミナー開催数 2023年1回/月→2026年2回/月 ・ライブラリーの蔵書数 2023年100冊→2026年1000冊
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	環境に配慮した森を守る森林農法(アグロフォレストリー)で作られたコーヒーをオフィスコーヒーとして企業等に紹介し、導入してもらう。	・導入件数 2023年3件→2026年100件

<パートナーシップ>

2023年、フェアトレードラブランドに事務局を置くフェアトレードシティくまもと推進委員会が「くまもとSDGsアワード」牽引部門で優秀賞を受賞した。代表の明石祥子はフェアトレードラブランドの代表でもある。連携してフェアトレード産品を販売すると共に、フェアトレードの普及し、理解を深める活動を行う。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	原料の生産から、輸出入、加工、製造全ての工程で、差別や児童労働の禁止、土壌・水源・生物多様性の保全等、国際フェアトレード基準が守られている商品の販売、利用普及を行っている。 →フェアトレード取扱店の目標は、現状把握の段階に留まり、未達であった。	熊本市内のフェアトレード取扱店の一覧表を作り、そうして確認できた店舗数を2倍に増やす。(2019年:98店舗→2023年200店舗) フェアトレードに関するミュージアムを併設する。	2024年セブンイレブン記念財団の助成を受け、熊本市と協働で「フェアトレードシティくまもとガイドマップ」を作成した。フェアトレード取扱店は熊本市内に91店舗。フェアトレード・ミュージアムは、建設計画中である。
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	様々なステークホルダーと連携してフェアトレード商品の販売、利用促進を行う。 →目標通りに達成できた。	月に一度、市内各地のお寺でフェアトレードをテーマとしたワークショップに出店する。その他イベントに積極的に出店する。	行政、学校、企業、市民団体など様々なステークホルダーと協力してイベントや勉強会を開催した。マルシェにも多数出店した。
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	海洋プラスチック削減に向けたバイオプラスチックを原料とするタンブラー及びアグロフォレストリーで栽培されたコーヒー等、生物多様性を守るための環境にやさしい商品の販売、普及促進に取り組んでいる。 →熊本市の事業終了に伴い、目標達成には至らなかった。	タンブラーを300個販売する。アグロフォレストリーで栽培されたコーヒーを900杯分販売する。	・タンブラーは、100個販売した。 ・アグロフォレストリーで栽培されたコーヒーはイベント等で約100杯分販売した。熊本市が事業を終了したため中止した。

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。